

トルコ為替週報

2023年8月15日 | みずほ銀行欧州資金部

<過去1週間の動き>

(8月8日～8月14日)

USD/TRY: 26.8841～27.2591

TRY/JPY: 5.26～5.38 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は対ドル27.0の水準で膠着した状況が続いている。もっとも、過去1週間の為替市場は中国経済の減速懸念や米国債利回りの上昇を背景にグローバルにドル高となっていたことを踏まえれば、リラは新興国通貨の中ではかなり持ちこたえていた、と評価するのが妥当であろう。グローバルに新興国通貨を俯瞰すれば、ロシアルーブルがウクライナ侵攻直後以来となる節目の対ドル100の水準を突破して下落が進行しロシア中銀が緊急会合の開催を発表したほか、アルゼンチンペソは大統領選挙の1回目の投票の結果、「中銀を焼き払う」と宣言したことのあるミレイ候補が予想外に躍進したことを受けて下落圧力が強まっており、8月14日には中銀が18%の公定レートでの切り下げを発表するに至っている。

トルコでは先週、小売売上高、鉱工業生産といった実体経済の勢いを示す主要経済指標のほか、経常収支が発表されている。6月分の小売売上高は前年同月比+28.5%と5月分の同+30.2%から減速したものの高い伸びが継続、同じく6月分の鉱工業生産指数は前年同月比+0.6%と5月分の同+0.2%から加速し、同▲3.0%を見込んでいた市場予想を大幅に上回った。5月の大統領選挙以降、相次いで発表されている増税や金融引き締めの影響もありトルコの景気は遅かれ早かれ減速する公算が大きいと見ているが、今のところ非常に底堅い状況が続いている。もっとも、今年は昨年より半月早い6月末にバイラム休暇があった関係で、労働日数の調整の影響が統計の攪乱要因となっている可能性があるため、今後7月以降の統計の結果もあわせて評価する必要があるだろう。

一方、先週発表されたもう一つの重要指標である6月分の経常収支は6.7億ドルの黒字となった。単月ではあるもののトルコが経常黒字を記録したのは約2年ぶりとなる。6月は夏の観光シーズンにあたり観光収入が増加する季節性があることや、上述の通り6月は長期休暇があったことが経常収支を改善させる要因となった可能性はある。また、トルコの経常収支を見極めるうえではエネルギー価格が重要な決定変数となることは意識する必要があるだろう。もっとも、金利引き上げや増税に伴う需要の抑制を考慮すれば、先行き経常収支は改善方向に向かう可能性は高まっていよう。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
8/10	08:00	鉱工業生産(前年比)	6月	-3%	0.6%	0.2%
8/11	08:00	経常収支(USD)	6月	0.30b	0.67b	-7.84b
	08:00	小売売上高(前年比)	6月		28.5%	30.2%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(8月15日～8月21日)

USD/TRY: 22.00～27.50

TRY/JPY: 5.10～6.30

今後1週間のリラは米金利の動向には注意が必要となるものの、横ばい～やや持ち直す展開を予想。トルコ株式市場への海外からの資金流入超過は9週目に突入している。アルゼンチンペソをはじめ他の新興国通貨が波乱に見舞われるなかでリラの安定が継続するようであれば、改めてトルコの「変化」への注目度が高まる公算が大きい。大手格付会社Moody'sも8月8日に、総選挙後の金融・財政政策の改革の方向性が継続すれば、トルコの格付けを引き上げる可能性があるとするコメントを出しており、これまでトルコの政治・経済の動向に対し懐疑的に見ていた機関も徐々に前向きな評価に変わりつつあるように見受けられる。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

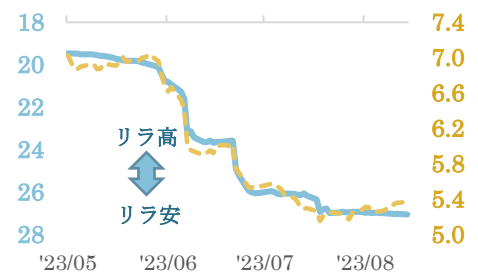
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
8/18	08:00	インフレ期待(12か月後)	8月			33.21%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

トルコ・リラの推移

実線: 対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線: 対円レート(右軸)

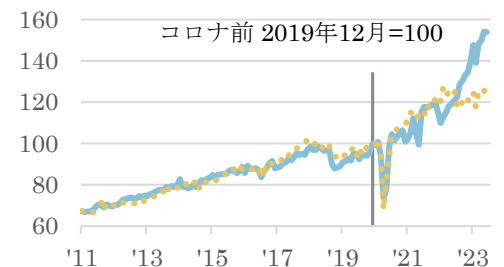


トルコ 小売売上高、鉱工業生産指数

実線: 小売売上高

点線: 鉱工業生産指数

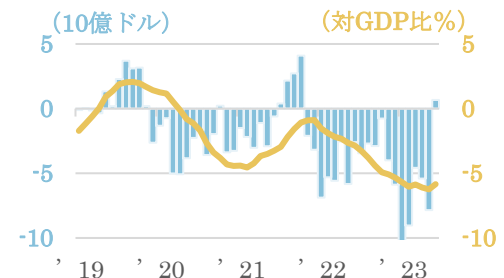
(2019年12月末=100)



トルコ 経常収支

棒グラフ: 月次(左軸)

折れ線: 12か月累計値対GDP比率(右軸)



(資料: トルコ中央銀行、トルコ統計局、ブルームバーグ)

<文責>

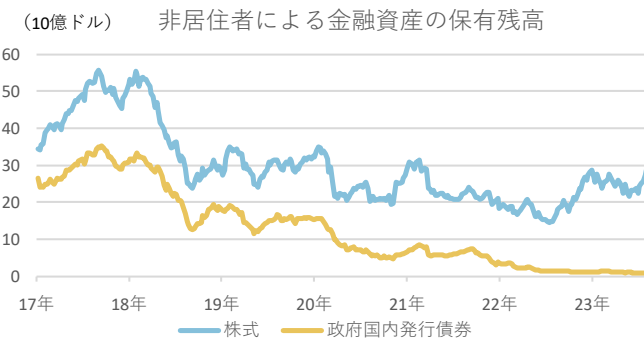
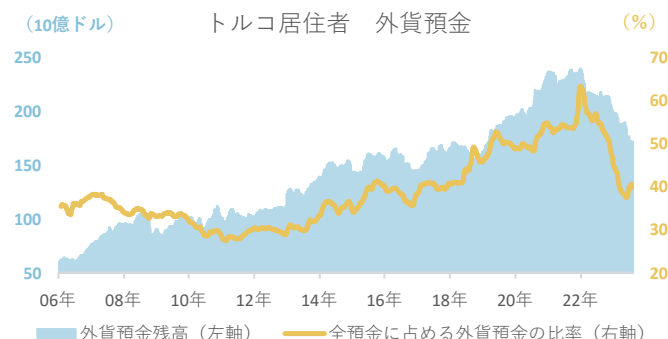
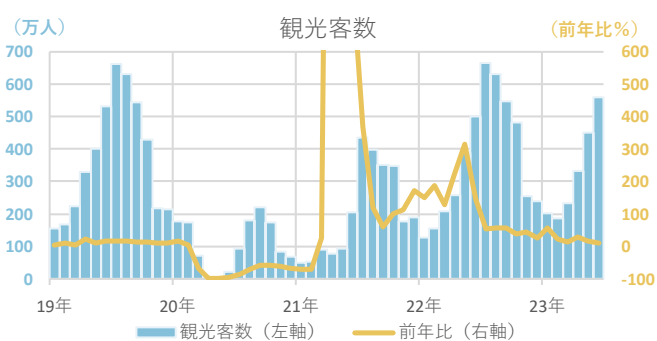
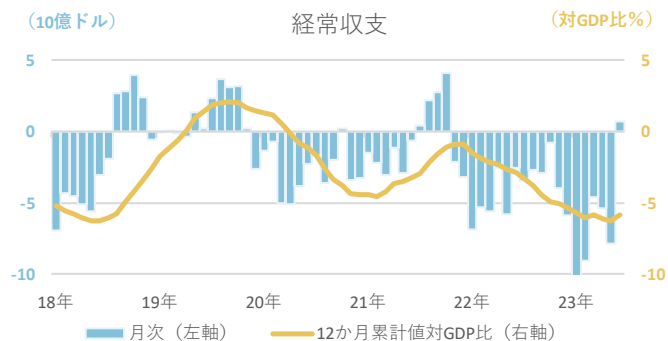
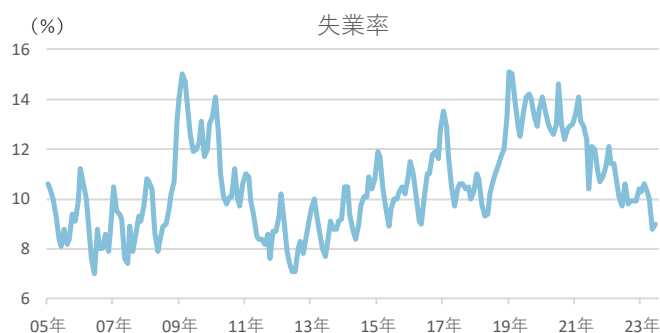
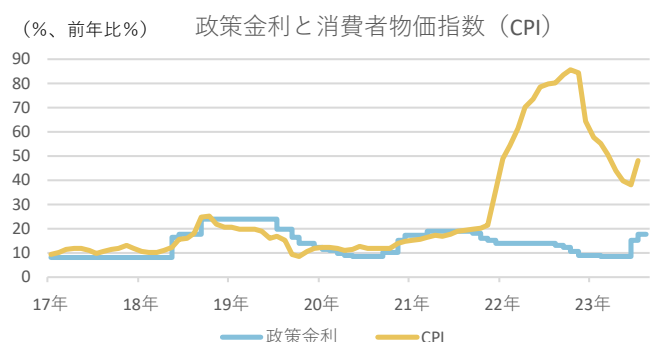
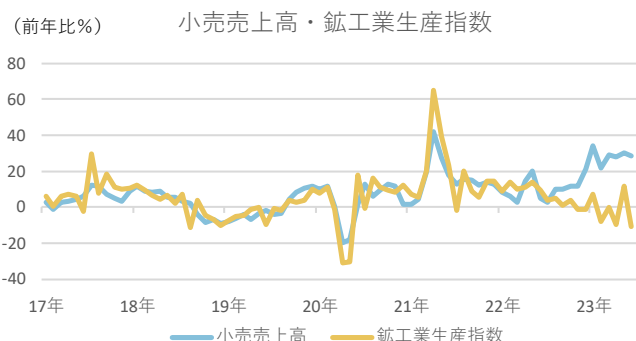
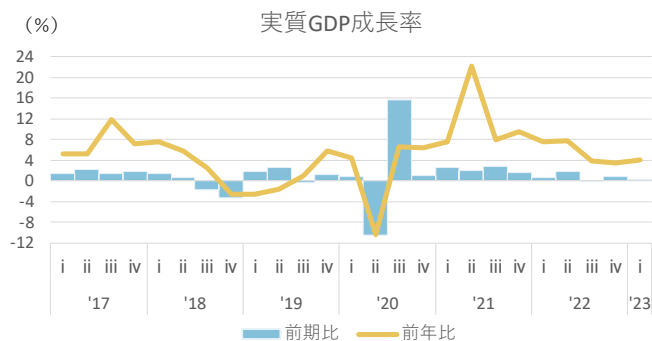
欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

<主要経済指標の推移>



(資料：トルコ中央銀行/トルコ統計局/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。